

第26回全国消防救助シンポジウムの開催

国民保護・防災部参事官

令和5年12月14日（木）、「最適な救助活動のための備え～効果的な教育・訓練と災害事例の共有・活用～」をテーマに、第26回全国消防救助シンポジウムを銀座ブロッサム中央会館において開催いたしました。会場及びオンラインを合わせたハイブリッド開催方式とし、会場約900人、オンライン4000回線以上の消防関係者に御参加いただきました。また、会場には消防関係企業による救助資機材展示ブースも設けました。

消防庁 原長官の開会挨拶に続き、全国消防長会 吉田会長から御祝辞をいただきました。講演では、陸上自衛隊 開発実験団装備実験隊長 松原泰孝氏から、「東京オリンピック2020におけるCBRN災害への準備と教訓」と題し、陸上自衛隊最大の化学科部隊である中央特殊武器防護隊の隊長をされた際の経験や実践された取り組みを御講演いただきました。また、特別報告では、東京消防庁 装備部航空隊 千島清奈生氏に「CRM訓練の実践」と題し、航空分野において発展してきたCRM（クルー・リソース・マネジメント）という情報のマネジメント手法や航空隊で実践しているCRM訓練を御紹介いただきました。

事例研究発表では、全国から選ばれた8名の消防職員による、多様な災害の教訓から取り組んでいる効果的な教育・訓練事例、日常の教育・訓練が活かされた災害事例や効果的かつ効率的な訓練手法等を発表していただきました。

また、総合討論では消防庁 鈴木参事官補佐が司会進行を務め、講演、特別報告、事例研究発表をいただいた10名とテーマに沿ってディスカッションを行ないました。

多様化する災害に対応することが、ますます求められる中、人命救助に対する熱い思いを原動力として、万全の備えを皆さま自身で考え実行、発展させていただくことを期待しております。



吉田会長の祝辞



講演：松原 泰孝氏



特別報告：千島 清奈生氏



総合討論

第26回全国消防救助シンポジウム事例研究発表

- つくば市消防本部 早川 亮 「ドア開放による救助人材育成について」
- 東近江行政組合消防本部 板倉 堅司 「2箇所同時発生した流水救助事案について～過去の教訓が活かした事例～」
- 倉敷市消防局 井上 明彦 「官民及び地域住民と協力して整えた訓練環境」
- 豊田市消防本部 福嶋 祐希 「救助活動検証体制～過去の教訓を未来へつなぐ～」
- 久留米広域消防本部 立石 平和 「映像を活用した効果・効率的な訓練方法の紹介」
- 岡山市消防局 小倉 良太 「NBC災害活動における教育・訓練体制」
- 稲敷広域消防本部 大野 卓也 「さらなる救助技術のアウトプットへ～地域の実情に応じた検証訓練の実施および動画マニュアル作成～」
- 浜松市消防局 伊藤 慎悟 「関係機関との連携訓練が生きた事例」



早川亮氏



板倉堅司氏



井上明彦氏



福嶋祐希氏



立石平和氏



小倉良太氏



大野卓也氏



伊藤慎悟氏

消防庁長官の開会挨拶

第26回全国消防救助シンポジウムの開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まずは、全国から多くの消防関係機関の皆様をお迎えして、本シンポジウムを開催できることを、主催者を代表しまして、深く感謝申し上げます。

また、本日は、全国消防長会の吉田会長にご出席いただいておりますとともに、陸上自衛隊の松原様には講演という形でご参加いただき、厚く御礼申し上げます。

近年、全国で様々な自然災害が相次いでおり、今年も石川県能登地方を震源とする地震のほか、6月からの記録的な大雨などにより、各地で甚大な被害が発生し、各消防本部の皆様が、昼夜を分かたず懸命な救助活動や、行方不明者の捜索活動等を実施していただいたことに、改めて敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

一方で、10月には新潟県柏崎市において、水難救助訓練中の消防隊員が殉職されるという事案が発生し、大変悲痛に感じています。この場をお借りし、哀悼の意を表しますとともに、消防庁としても再発防止を徹底して参ります。

本日のシンポジウムでは「最適な救助活動のための備え～効果的な教育・訓練と災害事例の共有・活用～」をテーマとし、災害の教訓を活かした効果的な教育・訓練事例や、日常の教育・訓練が活かされた実際の活動事例などを発表していただき、全国で共有することで、来たるべき災害に対する備えとするものです。

講演をいただく松原様は、東京オリンピック2020大会時に、陸上自衛隊最大の化学科部隊である中央特殊武器防護隊の隊長を歴任されてお



原長官の開会挨拶

り、その際の経験談やリーダーシップのあり方についてご講演いただきます。また、特別報告をいただく千島様には、「CRM」という航空分野で発展してきたマネジメント手法を用いて、チームとしての能力を最大限に発揮していこうとする東京消防庁装備部航空隊での取り組みをご報告いただきます。

総務省消防庁といたしましても、人の組織である消防機関における効果的な救助人材の育成に力を入れて取り組んでいるところであり、本シンポジウムを通じまして、様々な方面における取り組みを学び、考え、実践していただくことで、救助活動能力の一層の充実強化につなげていただくことを期待しております。

むすびに、全国の消防関係機関のますますのご発展と、お集まりの皆様のご健勝とご多幸を心より祈念いたしまして、私の挨拶といたします。

問合せ先

消防庁国民保護・防災部参事官付
救助係 戸田全則
TEL: 03-5253-7507